

# Chiba Weekly Report

## 2022

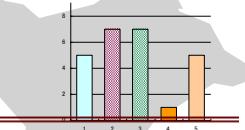
– 第 19 週 – 2022/5/9～2022/5/15

### 千葉県結核・感染症週報

千葉県感染症天気図 ..... 2

今週の注目疾患 ..... 3-4

梅毒、RSウイルス感染症



全数報告疾患集計表 ..... 5



定点報告（五類感染症）

疾病別グラフ ..... 6-10

〈男女合計〉

RSウイルス感染症・咽頭結膜熱・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・感染性胃腸炎・  
水痘・手足口病・伝染性紅斑・突発性発しん・ヘルパンギーナ・  
流行性耳下腺炎・インフルエンザ・急性出血性結膜炎・流行性角結膜炎・  
クラミジア肺炎・細菌性髄膜炎・マイコプラズマ肺炎・無菌性髄膜炎・  
感染性胃腸炎（ロタウイルス）

疾患別・保健所別・年齢階級別集計表 ..... 11-14

〈男女合計〉

RSウイルス感染症・咽頭結膜熱・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・感染性胃腸炎・  
水痘・手足口病・伝染性紅斑・突発性発しん・ヘルパンギーナ・  
流行性耳下腺炎・インフルエンザ・急性出血性結膜炎・流行性角結膜炎

## 定点把握対象の五類感染症

千葉県感染症天気図 2022年 第19週

定点当たり報告数=報告数/定点医療機関数

上段は定点当たり報告数

下段は報告数

定点	疾 病 名	流行状況	コ メ ト ト	19週	18週	17週	16週	15週
小児科	小児科定点医療機関数				129	128	127	129
	RSウイルス感染症			0.03 4	0.01 1	0.02 3	0.00 0	0.00 0
	咽頭結膜熱			0.10 13	0.06 8	0.03 4	0.02 3	0.05 6
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.25 32	0.17 22	0.23 29	0.21 27	0.13 17
	感染性胃腸炎		印旛(8.2)、海匝(6.3)、千葉市(5.8)	4.02 518	2.50 320	3.57 453	4.53 585	4.18 539
	水痘			0.13 17	0.08 10	0.15 19	0.04 5	0.05 7
	手足口病			0.02 3	0.05 6	0.08 10	0.07 9	0.08 10
	伝染性紅斑			0.00 0	0.00 0	0.02 3	0.02 3	0.02 2
	突発性発しん		千葉市(1.0)	0.43 56	0.42 54	0.40 51	0.41 53	0.33 43
	ヘルパンギーナ			0.02 3	0.00 0	0.02 2	0.03 4	0.02 2
インフルエンザ	インフルエンザ定点医療機関数				207	207	204	208
	インフルエンザ			0.00 1	0.00 1	0.00 0	0.00 1	0.00 1
	眼科定点医療機関数				33	33	30	33
眼科	急性出血性結膜炎			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	流行性角結膜炎			0.09 3	0.03 1	0.10 3	0.12 4	0.12 4
基幹病院	基幹定点医療機関数				9	9	9	9
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	細菌性髄膜炎			0.00 0	0.11 1	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	マイコプラズマ肺炎			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	無菌性髄膜炎			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
全数	風しん			0	0	0	0	0
	麻しん			0	0	0	0	0

備考



増加



やや増加



変化なし



やや減少



減少

※診断日を基準とします。報告の追加、取り下げ等により、数値は今後変動することがあります。

## 【今週の注目疾患】

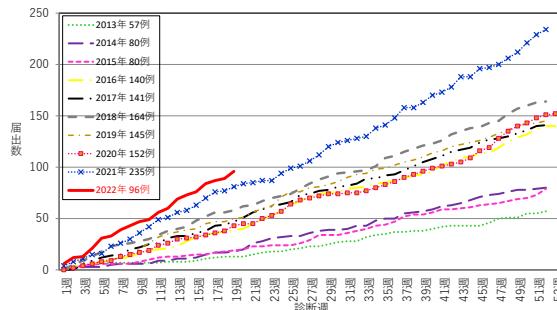
### 《梅毒》

2022年第19週に県内の医療機関より梅毒の報告が7例あり、2022年の累積届出数は96例となった。1999年の現行感染症サーベイランス開始以降、最多を記録した昨年の同時期を上回る届出数（2021年第19週累積届出数81例）であり、本年も増加傾向が続いている（図1）。

性別では男性70例（73%）、女性26例（27%）

であった。年齢別では、男性は40代26例（26/70,37%）、50代20例（20/70,29%）が多く、次いで30代13例（13/70,19%）であった。女性では20代が16例（16/26,62%）で最も多く報告されていた。病型別では、男性は早期顕症梅毒第I期（以下、第I期）が49例（49/70,70%）と最も多かったが、女性では早期顕症梅毒第II期（以下、第II期）が12例（12/26,46%）、無症状病原体保有者が8例（8/26,31%）と多く報告されていた。

図1：2013年～2022年19週千葉県の梅毒年別累積届出数（N=1290）



梅毒は、梅毒トレポネーマを原因とする細菌感染症である。主な感染経路は菌を排出している感染者との性器や肛門、口腔などの粘膜の接触を伴う性行為や疑似性行為によるものである。予防としては、感染者との性行為や疑似性行為を避けることが基本となる。コンドームが覆わない部分の皮膚などでも感染がおこる可能性があるため、コンドームの使用は完全ではないものの予防効果があることが示唆されている<sup>1), 2)</sup>。治療は早期発見・早期治療が重要である。再感染を予防するため、パートナーとともに検査を受けることが推奨される。県では保健所において無料・匿名の検査を実施しているとともに、しば県民保健予防財団への委託による検査を実施している。受検を希望する方は活用されたい。なお、最新の検査実施状況については、県ホームページ等でご確認いただきたい<sup>3)</sup>。

梅毒は、感染後3～6週間の潜伏期間を経て、継時的に様々な臨床症状が逐次出現する。

**第I期** 感染約3週間後に梅毒トレポネーマの感染部位（主に陰部、口唇部、口腔内、肛門等）に、しこりが形成されることがある。無治療でも数週間で軽快する。感染した可能性がある場合には、この時期に梅毒の検査が勧められる。

**第II期** 第I期の症状消失後、4～10週間の潜伏期間を経て、病原体が血液によって全身に運ばれ、手のひら、足の裏、体全体にうっすらと赤い発疹ができる（バラ疹）。そのほか、脱毛、発熱・倦怠感の全身症状等多彩な症状を呈する。無治療でも数週間で軽快するが、この時期に適切な治療を受けられなかった場合、数年後に複数の臓器に障害がおこることがある。

**潜伏梅毒（無症状病原体保有者）** 梅毒血清反応陽性で顕性症状が認められないものをさし、第I期と第II期の間、第II期の症状消失後の状態を主にいう。第II期の症状が消失後、再度第II期の症状を示すことがあり、これは感染成立後1年内に起こることから、早期潜伏梅毒と呼ぶ。これに対して、感染成立後1年以上たつ血清梅毒反応陽性で無症状の状態を後期潜伏梅毒と呼ぶ。

**晚期顕症梅毒** 無治療で経過した者のうち、約3分の1で起こる。ゴム腫、進行性の大動脈拡張を主体とする心血管梅毒、進行麻痺に代表される神経梅毒に進展する。場合によっては死に至る。

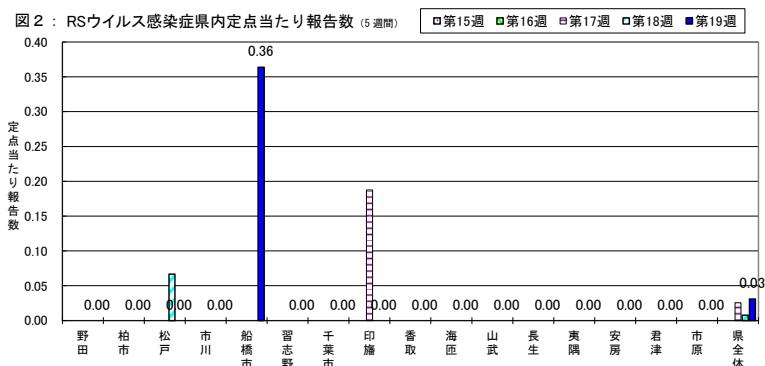
**先天梅毒** 梅毒に罹患している母体から胎盤を通じて胎児に伝播される多臓器感染症であり、死産、早産、新生児死亡、奇形が起こることがある<sup>1)、2)</sup>。

2022年は現時点で、梅毒の妊娠症例や先天梅毒の症例は報告されていないが、5歳未満の症例が報告されている。梅毒の流行期においては、初期の梅毒スクリーニング検査では陰性であっても、妊娠中に感染する妊婦が報告されている<sup>4)</sup>。妊婦梅毒感染の3割が子宮内胎児死亡、死産または分娩直後の死亡を起こすと言われており、女性の梅毒感染が先天梅毒児の数から想定されるよりもはるかに大きな公衆衛生上の影響を及ぼしている懸念がある<sup>5)</sup>。

梅毒の母子感染予防のためには、妊娠中の性感染症の予防、定期的な妊婦健診の受診が重要となる<sup>4)</sup>。また、梅毒の妊娠症例は20代後半から30代前半の女性で、性風俗産業利用歴・従事歴がない症例も多く、感染源が男性パートナーである可能性が示唆されている<sup>5)</sup>。男性パートナーについても、積極的に検査を受け、早期発見に努めることが推奨される。県では、無料で匿名の検査を受けることができる<sup>3)</sup>。

### 《RSウイルス感染症》

RSウイルス感染症について、2022年第19週に船橋市保健所管内の定点医療機関から4例報告があり、定点当たり報告数は0.01人から0.03人に増加した（図2）。全て2歳の症例である。当該疾患は県内では例年夏から秋頃にかけて流行が見られていたが、昨年は第20週頃（5月下旬頃）から急激に患者報告数が増加し、過去最多の流行を記録した。今年度は全国的にまだ流行は見られていないが、本県においても今後の発生動向は十分注視していく必要がある。



### ■参考

1) 国立感染症研究所：梅毒とは

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/465-syphilis-info.html>

2) 厚生労働省：梅毒に関するQ&A

[https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryou/kenkou/kekakku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekakku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html)

3) 千葉県：梅毒が増えています

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/baidoku.html>

4) 国立感染症研究所：先天梅毒児の臨床像および母親の背景情報に関する研究報告

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/syphilis-m-3/syphilis-iasrd/8437-465d03.html>

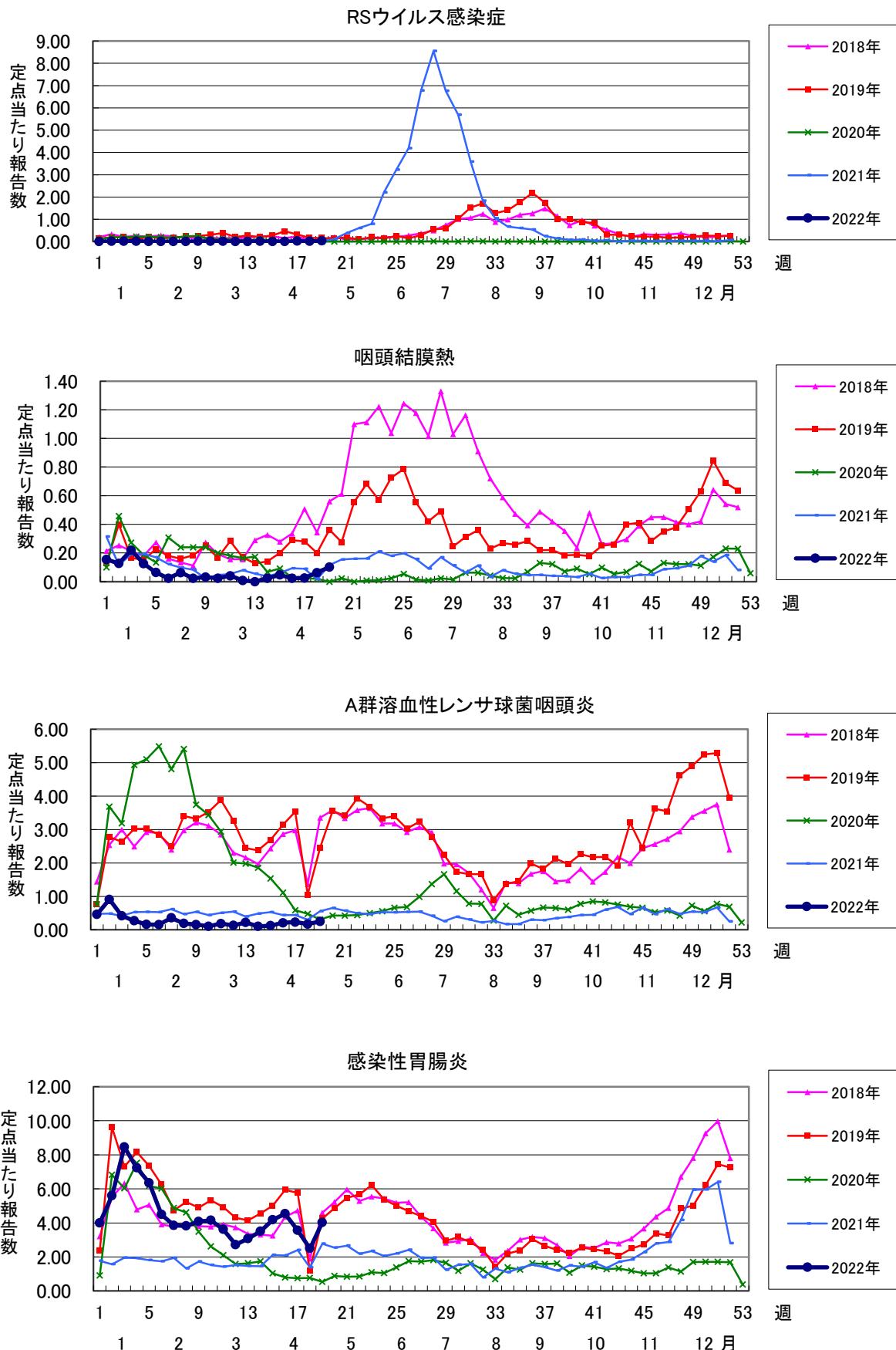
5) 国立感染症研究所：感染症発生動向調査における梅毒妊娠症例 2019年第1～3四半期

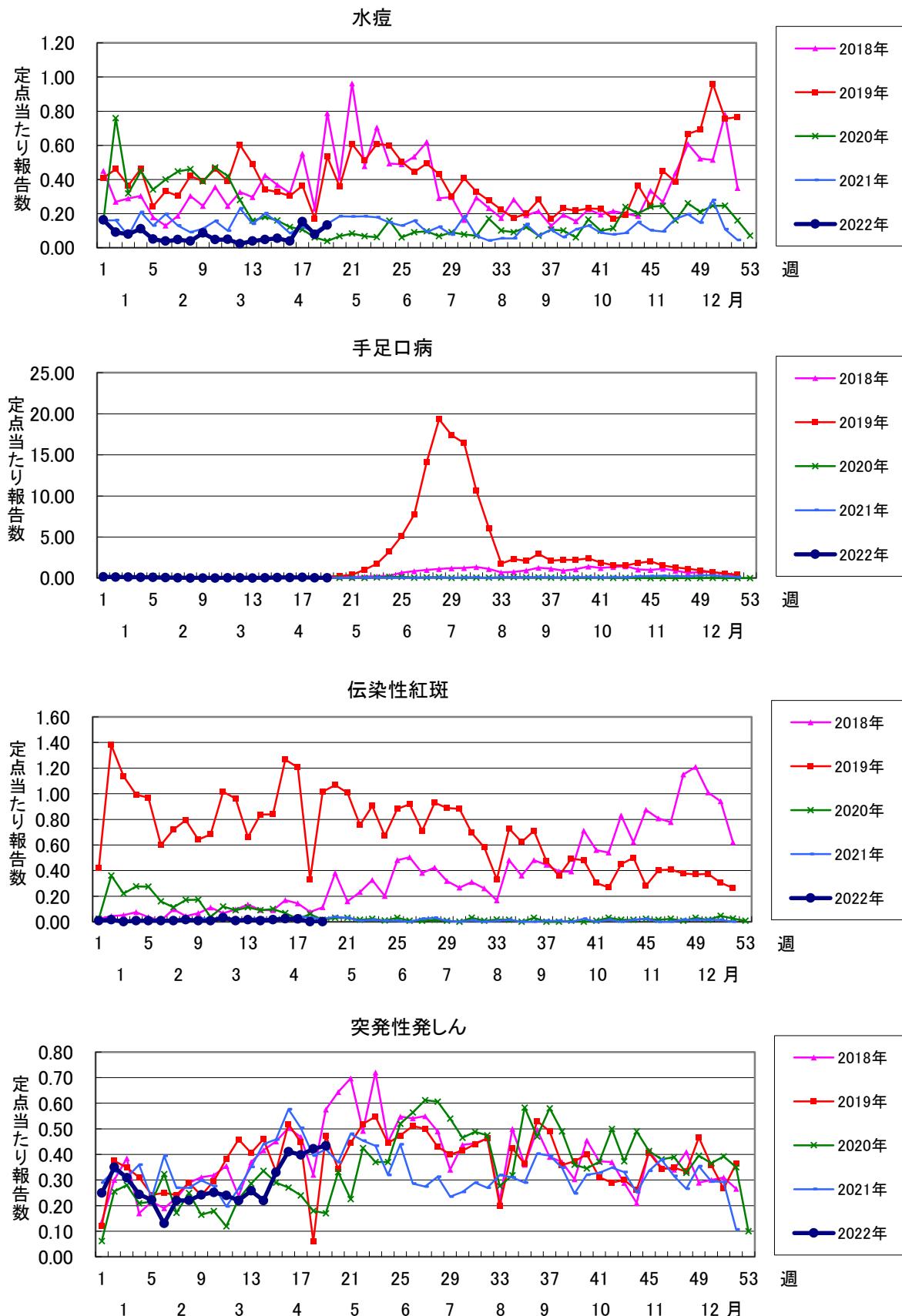
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/typhi-m/iasr-reference/2473-related-articles/related-articles-479/9351-479r05.html>

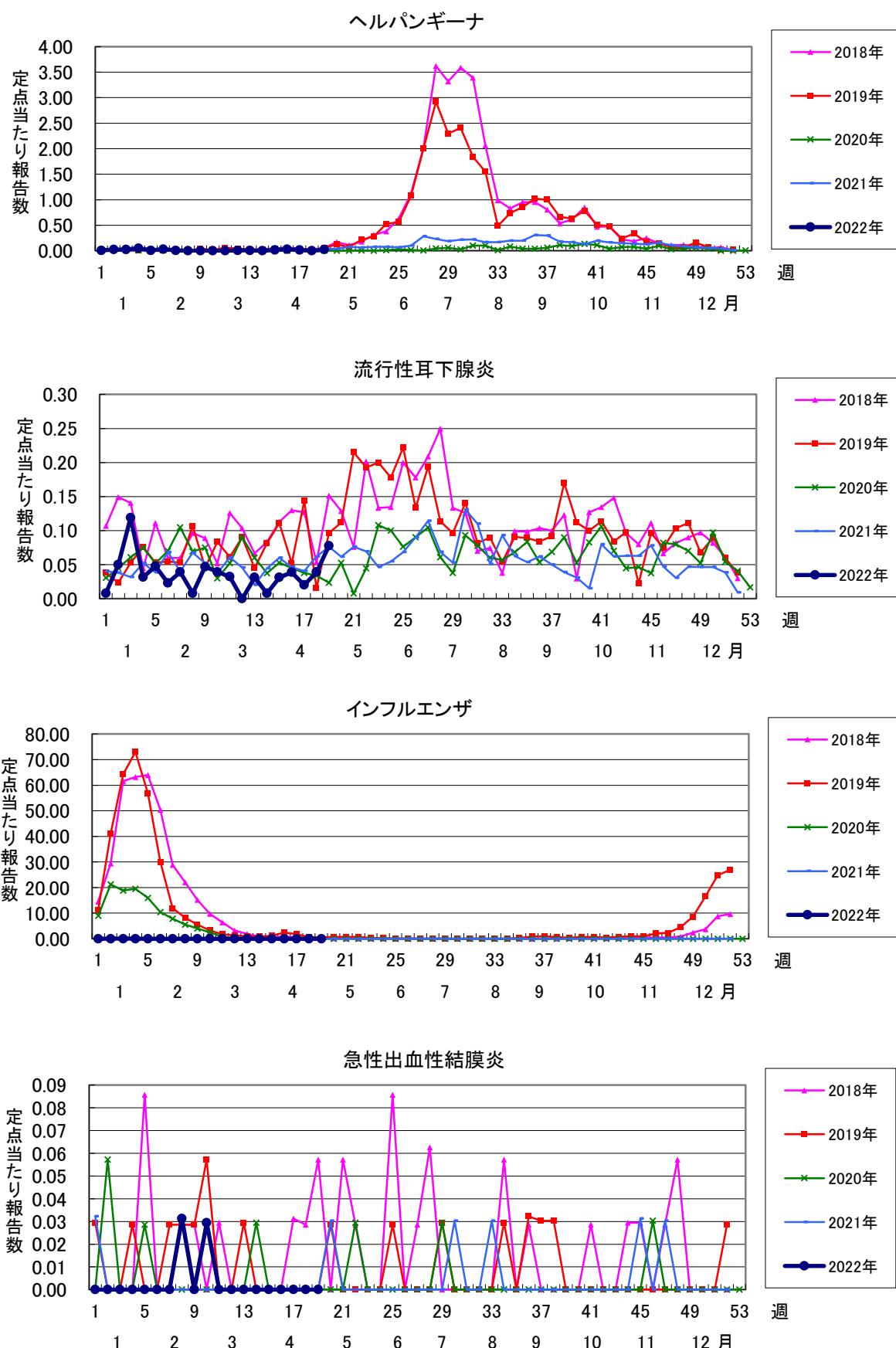
## 第19週全数報告疾患集計表

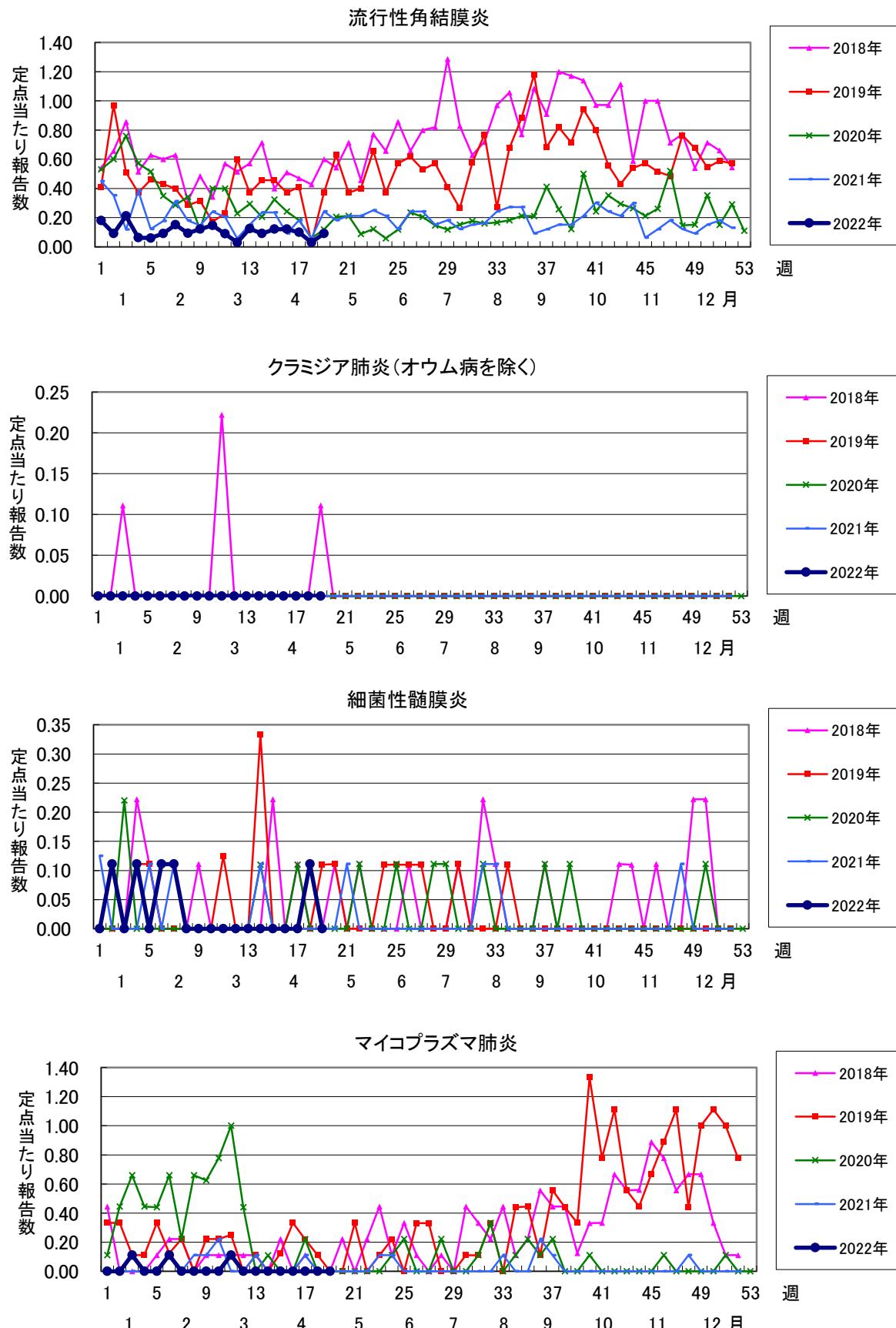
一類感染症	今週	累計(年)	四類感染症(その2)	今週	累計(年)
エボラ出血熱	0	0	日本紅斑熱	1	1
クリミア・コンゴ出血熱	0	0	日本脳炎	0	0
痘そう	0	0	ハンタウイルス肺症候群	0	0
南米出血熱	0	0	Bウイルス病	0	0
ベスト	0	0	鼻疽	0	0
マールブルグ病	0	0	ブルセラ症	0	0
ラッサ熱	0	0	ベネズエラウマ脳炎	0	0
			ヘンドラウイルス感染症	0	0
二類感染症	今週	累計(年)			
急性灰白髄炎	0	0	発しんチフス	0	0
結核	14	262	ボツリヌス症	0	0
ジフテリア	0	0	マラリア	0	2
重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0	野兎病	0	0
中東呼吸器症候群(MERS)	0	0	ライム病	0	0
鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	リッサウイルス感染症	0	0
鳥インフルエンザ(H7N9)	0	0	リフトバレー熱	0	0
			類鼻疽	0	0
三類感染症	今週	累計(年)			
コレラ	0	0	レジオネラ症	3	18
細菌性赤痢	0	0	レプトスピラ症	0	0
腸管出血性大腸菌感染症	0	9	ロッキー山紅斑熱	0	0
腸チフス	0	0			
パラチフス	0	0			
四類感染症(その1)	今週	累計(年)	五類感染症(全数)	今週	累計(年)
E型肝炎	0	19	アメーバ赤痢	3	7
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	1	5
A型肝炎	0	1	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	14
エキノコックス症	0	0	急性弛緩性麻痺	0	0
黄熱	0	0	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	0	9
オウム病	0	0	クリプトスピロジウム症	0	0
オムスク出血熱	0	0	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2
回帰熱	0	0	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	9
キャサヌル森林病	0	0	後天性免疫不全症候群	0	9
Q熱	0	0	ジアルジア症	0	0
狂犬病	0	0	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	2
コクシジオイデス症	0	0	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0
サル痘	0	0	侵襲性肺炎球菌感染症	0	13
ジカウイルス感染症	0	0	水痘(入院例)	0	1
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	0	0	先天性風しん症候群	0	0
腎症候性出血熱	0	0	梅毒	7	96
西部ウマ脳炎	0	0	播種性クリプトコックス症	0	3
ダニ媒介脳炎	0	0	破傷風	0	1
炭疽	0	0	パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0
チクングニア熱	0	0	パンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	5
つつが虫病	0	3	百日咳	0	4
デング熱	0	0	風しん	0	0
東部ウマ脳炎	0	0	麻しん	0	0
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	0	0	薬剤耐性アシнетバクター感染症	0	0
ニパウイルス感染症	0	0			
新型インフルエンザ等感染症(その1)	累計		新型インフルエンザ等感染症(その2)	今週	累計(年)
新型インフルエンザ等感染症(その1)	累計		新型インフルエンザ	0	0
新型コロナウイルス感染症*	437,673		再興型インフルエンザ	0	0

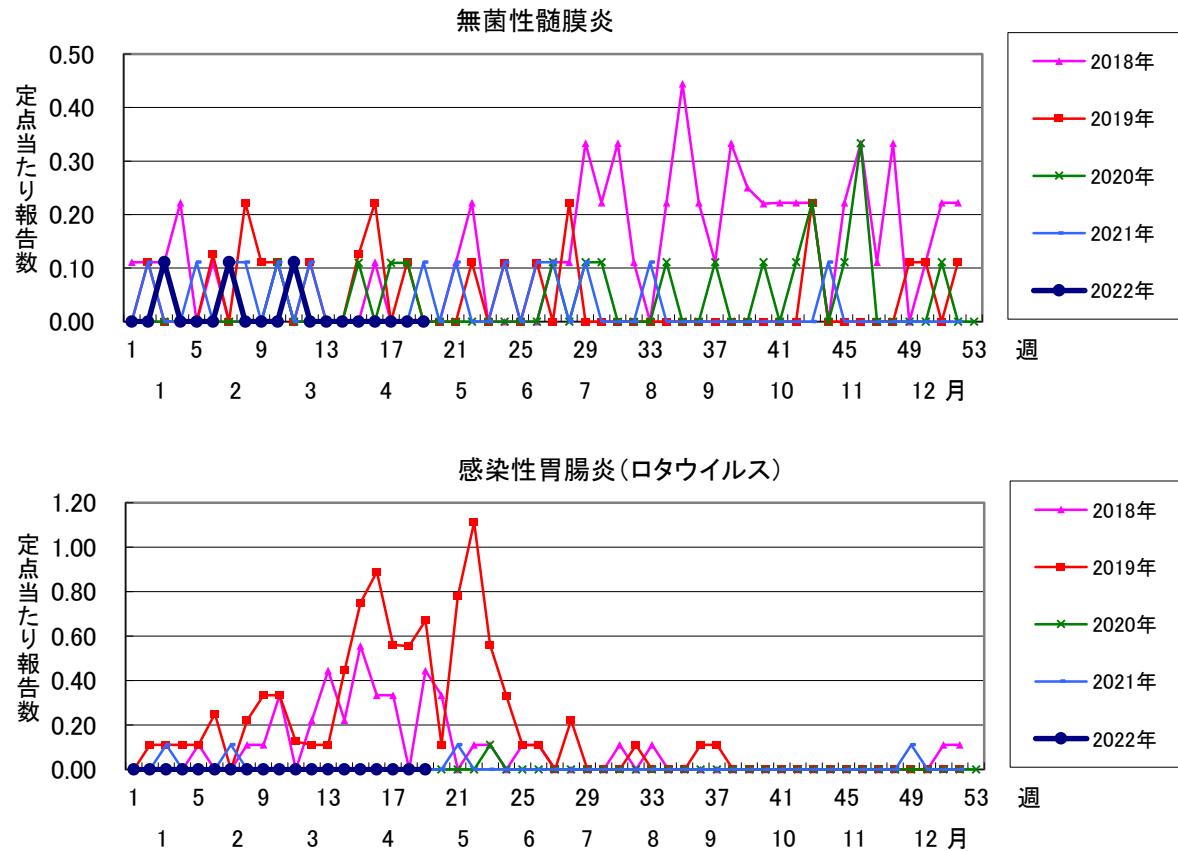
\* 千葉県報道発表による(5月17日13時現在)











2022年 第19週

保健所別、年齢群別報告数(男女合計)

No.1

	野	柏	松	市	船	習	千	印	香	海	山	長	夷	安	君	市	合
	田	市	戸	川	市	野	市	施	取	匝	武	生	隅	房	津	原	計
小児科定点数	4	9	15	11	11	8	18	16	3	3	5	4	3	4	8	7	129
RSウイルス感染症	～5ヶ月																
	～11ヶ月																
	1歳																
	2歳								4								4
	3歳																
	4歳																
	5歳																
	6歳																
	7歳																
	8歳																
	9歳																
咽頭結膜熱	10～14歳																
	15～19歳																
	20歳以上																
	合計								4								4
	～5ヶ月																
	～11ヶ月								1								1
	1歳	1	1	1				1		1							5
	2歳	1	1					1									3
	3歳																2
	4歳					1											1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5歳																
	6歳																
	7歳								1								
	8歳																
	9歳																
	10～14歳																
	15～19歳																
	20歳以上																
	合計	3	2	3				2		1							13
	～5ヶ月																
感染性胃腸炎	～11ヶ月																
	1歳	1	1	1	3	13		6	15		1	1					5
	2歳	3	8	2	4	1	5	7	27	2	6	2	1				35
	3歳	9	9	8	5	10	24										107
	4歳	1	6	10	5	7	10	21	18		2	1					87
	5歳																
	6歳																
	7歳																
	8歳																
	9歳																
RSウイルス感染症	10～14歳																
	15～19歳																
	20歳以上																
	合計	3	29	56	37	50	29	105	131	6	19	10	5	2			518

2022年 第19週

## 保健所別、年齢群別報告数(男女合計)

No.2

	野	柏	松	市	船	習	千	印	香	海	山	長	夷	安	君	市	合
	田	市	戸	川	市	野	市	施	取	匝	武	生	隅	房	津	原	計
小児科定点数	4	9	15	11	11	8	18	16	3	3	5	4	3	4	8	7	129
水痘	～5ヶ月																
	～11ヶ月																
	1歳															1	1
	2歳	1															1
	3歳																
	4歳																1
	5歳		1				1										2
	6歳					2											2
	7歳			1	1		1										3
	8歳								2								
手足口病	9歳								2								2
	10～14歳			1				4									5
	15～19歳																
	20歳以上																
	合計	1	2	1	3	1	7									2	17
伝染性紅斑	～5ヶ月																
	～11ヶ月																
	1歳							1									
	2歳								1								1
	3歳									1							1
	4歳																
	5歳																
	6歳																
	7歳																
	8歳																
突発性発しん	9歳																
	10～14歳																
	15～19歳																
	20歳以上																
	合計							1	2								3
～5ヶ月	～11ヶ月																
	1歳	1	2	3	2	1	12	3	1								24
	2歳	1	2	2	1	2	2			1	1						21
	3歳	2	1														
	4歳																
	5歳																
	6歳																
	7歳																
	8歳																
	9歳																
～11ヶ月	10～14歳																
	15～19歳																
	20歳以上																
	合計	4	5	5	5	4	18	9	1		1	2		1	1		56

2022年 第19週

保健所別、年齢群別報告数(男女合計)

No.3

		野	柏	松	市	船	習	千	印	香	海	山	長	夷	安	君	市	合
		橋	志	葉														計
小児科定点数		田	市	戸	川	市	野	市	施	取	匝	武	生	隅	房	津	原	129
ヘルパンギーナ	～5ヶ月																1	
	～11ヶ月																1	
	1歳																1	
	2歳																	
	3歳																	
	4歳																	
	5歳																	
	6歳																	
	7歳																	
	8歳																	
	9歳																	
	10～14歳																	
	15～19歳																	
	20歳以上																	
合計																	3	
流行性耳下腺炎	～5ヶ月																	
	～11ヶ月																	
	1歳																	
	2歳																	
	3歳																2	
	4歳																1	
	5歳																1	
	6歳																2	
	7歳																	
	8歳																	
	9歳																	
	10～14歳																	
	15～19歳																	
	20歳以上																	
合計																	10	

2022年 第19週

保健所別、年齢群別報告数(男女合計)

No.4

	野	柏	松	市	船	習	千	印	香	海	山	長	夷	安	君	市	合
	田	市	戸	川	市	野	市	施	取	匝	武	生	隅	房	津	原	計
インフルエンザ	7	14	24	16	17	14	28	24	6	6	8	7	5	7	13	11	207
	～5ヶ月																
	～11ヶ月																
	1歳																
	2歳																
	3歳																
	4歳																
	5歳																
	6歳																
	7歳																
	8歳																
	9歳																
	10～14歳																
	15～19歳																
	20～29歳																
	30～39歳																
	40～49歳																
	50～59歳																
	60～69歳																
	70～79歳											1					1
	80歳以上																
	合計											1					1
眼科	定点数	1	2	5	2	3	2	5	4	1	1	1	1	1	1	2	33
	～5ヶ月																
	～11ヶ月																
	1歳																
	2歳																
	3歳																
	4歳																
	5歳																
	6歳																
	7歳																
	8歳																
	9歳																
	10～14歳																
	15～19歳																
	20～29歳																
	30～39歳																
	40～49歳																
	50～59歳																
	60～69歳																
	70歳以上																
	合計																
急性出血性結膜炎		～5ヶ月															
		～11ヶ月															
		1歳															
		2歳															
		3歳															
		4歳															
		5歳															
		6歳															
		7歳															
		8歳															
		9歳															
		10～14歳															
		15～19歳															
		20～29歳															
		30～39歳															
		40～49歳															
		50～59歳															
		60～69歳															
		70歳以上															
		合計															
流行性角結膜炎		～5ヶ月															
		～11ヶ月															
		1歳															
		2歳															
		3歳															
		4歳															
		5歳															
		6歳															
		7歳															
		8歳															
		9歳															
		10～14歳															
		15～19歳															
		20～29歳															
		30～39歳															
		40～49歳						1									1
		50～59歳						1									2
		60～69歳															
		70歳以上															
		合計			1		1		1								3

※ 千葉県の感染症情報は、千葉県感染症情報センターのホームページを御覧ください。

URL. <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/index.html>

※ 全国の感染症情報(IDWR)は、国立感染症研究所感染症疫学センターのホームページを御覧ください。

URL. <https://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

### 千葉県結核・感染症週報 2022年 第19週

発 行 千葉県衛生研究所  
千葉県健康福祉部  
千葉県医師会  
事務局 千葉県衛生研究所感染疫学研究室内  
千葉県感染症情報センター  
〒260-8715 千葉市中央区仁戸名町 666-2  
TEL. 043(266)6723 FAX. 043(265)5544

本週報は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づくものであり、千葉県内の医療従事者、定点医療機関、県及び千葉市保健所の皆様の御協力を得て、千葉県衛生研究所感染疫学研究室内の千葉県感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査などの結果に応じて、若干の変更が生ずることがあります、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。